＜様式1＞

平成 29年 09月 04日

国土交通大臣　殿

地域型住宅グリーン化事業　適用申請書

【平成29年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実に相違ありません。

地域型住宅の名称	武蔵野の家
グループの名称	「水と緑の循環型住宅」を考える会
直近採択グループ番号	04-0620-0268

（グループ代表者）

代表者名	宮下　真一　代表者印
代表者所属先	みすゞ建設株式会社
代表者所在地	東京都武蔵野市吉祥寺東町2-2-15
代表者電話番号	04-2222-0881

（グループ事務局）

事務局事業者名	株式会社タカキ
事務局担当者名	時計　俊介　印
事務局郵便番号	207-0015
事務局所在地	東京都東大和市中央1-1-5
事務局電話番号	04-2566-2344
事務局FAX	04-2569-8212
事務局担当者E-mail	tokie@takakigroup.net

※）　日付以外は、様式2-1からリンクする為、入力は必要はありません。

＜地域型住宅の生産体制＞　　＜様式２－１＞

１．地域型住宅の名称(必須)	武蔵野の家
２．グループの名称(必須)	「水と緑の循環型住宅」を考える会
３．直近採択グループ番号(必須)	04-0620-0268
４．地域型住宅供給対象地域(必須)	多摩の東部地区を中心とした、東京都、埼玉県、神奈川県の全域
５．結成年(必須)	2012　年
６．グループ代表者名(必須)	宮下　真一
７．グループ代表者の所属先(必須)	みすゞ建設株式会社
８．グループ代表者所在地(必須)	東京都武蔵野市吉祥寺東町2-2-15
９．グループ代表者電話番号(必須)	04-2222-0881
１０．グループ事務局事業者名(必須)	株式会社タカキ
１１．グループ事務局担当者名(必須)	時計　俊介
１２．グループ事務局郵便番号(必須)	207-0015
１３．グループ事務局所在地(必須)	東京都東大和市中央1-1-5
１４．グループ事務局電話番号(必須)	04-2566-2344
１５．グループ事務局FAX番号(必須)	04-2569-8212
１６．グループ事務局担当者E-mail(必須)	tokie@takakigroup.net

（構成員数）		（構成員を含まない理由）
Ⅰ．原木供給	12	
Ⅱ．製材・集成材製造・合板製造	9	
Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く）	4	
Ⅳ．プレカット	5	
Ⅴ．設計	7	
Ⅵ．施工	22	
Ⅶ．木材を扱わない流通	1	
Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種	0	

	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称 ※以下該当の1、2、3の番号を番号記入欄に記入してください。 1.都道府県の産地認証制度等によるもの 2.民間の第三者機関による認証制度(FSC、PEFC、SGEC等) 3.林野庁作成の「木材・木材製品の合法性、持続可能性のためのガイドライン(平成18年2月)に基づき合法性が証明されるもの 4.クリーンウッドに基づき合法であることが確認された木材・木材製品（合法伐採木材等証明）	番号記入欄	国内・国外
Ａ．使用する地域材に関する事項　(必須)	■　合法木材証明制度を利用する	全国		3	国内
	□　合法木材証明制度を利用する	国外		3	国外
	□　PEFC認証制度を利用する	国外		2	国外
	□　SGEC認証制度を利用する	全国		2	国内
	□　FSC認証制度を利用する	全国		2	国内
	□　FIPC認証制度を利用する	全国		2	国内
	使用する地域材は必須項目です。				

B．平成２９年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数（必須）	長寿命型（長期優良住宅） **経験**工務店による申請戸数	申請が確実（上限100万円）		40	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	40	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	10	戸
		申請が未確定（上限100万円）		10	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定（上限20万円）	10	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定（上限30万円）	4	戸
	長寿命型（長期優良住宅） **未経験**工務店による申請戸数	申請が確実（上限100万円）		5	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	5	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	2	戸
		申請が未確定（上限100万円）		5	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定（上限20万円）	5	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定（上限30万円）	2	戸
	高度省エネ型 （認定低炭素住宅）の申請戸数	申請が確実（上限100万円）		30	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	30	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	6	戸
		申請が未確定（上限100万円）		10	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定（上限20万円）	10	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定（上限30万円）	2	戸
	高度省エネ型 （性能向上計画認定住宅）の申請戸数	申請が確実（上限100万円）		10	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	10	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	2	戸
		申請が未確定（上限100万円）		10	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定（上限20万円）	10	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定（上限30万円）	2	戸
	高度省エネ型（ゼロ・エネルギー） **経験**工務店（4戸（8戸）以上）による申請戸数	申請が確実（上限150万円）		0	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	0	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
		申請が未確定（上限150万円）		0	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定（上限20万円）	0	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定（上限30万円）	0	戸
	高度省エネ型（ゼロ・エネルギー） **未経験**工務店（4戸（8戸）未満）による申請戸数	申請が確実（上限165万円）		10	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	10	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	6	戸
		申請が未確定（上限165万円）		6	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定（上限20万円）	6	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定（上限30万円）	3	戸

C. 平成29年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	申請が確実	3	棟
			900	㎡
		申請が未確定	0	棟
			0	㎡

D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール （必須）	28年度のように配分先に指定があれば、その枠内で建築確認の確認済証などの交付を受けた物件順に配分するのが原則。指定がない場合は長期優良住宅の着工経験のない施工店の物件を優先する。

E. 平成２８年度の執行状況（必須）	長寿命型（長期優良住宅）									
	当初予算	採択戸数	6	戸	交付申請戸数	5	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	5	戸
	補正予算	採択戸数	20	戸	交付申請戸数	12	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	12	戸
	高度省エネ型（認定低炭素住宅）									
	当初予算	採択戸数	3	戸	交付申請戸数	3	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	3	戸
	補正予算	採択戸数	4	戸	交付申請戸数	2	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	2	戸
	高度省エネ型（性能向上計画認定住宅）									
	当初予算	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	1	戸
	補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	0	戸
	高度省エネ型（ゼロ・エネルギー住宅）									
	当初予算	採択戸数	4	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	1	戸
	補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	0	戸
	優良建築物型									
	当初予算	採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績（竣工予定含む）棟数	0	戸
	当初予算	採択床面積	0	㎡	交付申請床面積	0	㎡	完了実績（竣工予定含む）床面積	0	㎡

＜様式 2-2・Ⅰ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅰ．原木供給（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に原木供給者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて原木供給者を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅰ．原木供給						
9	Ⅰ－ 5	栃木県森林組合連合会		320-0046	栃木県宇都宮市西一の沢町8－22	028-637-1450
8	Ⅰ－ 6	茨城県森林組合連合会		319-2205	茨城県常陸大宮市宮の郷2153－23	0294-70-3620
3	Ⅰ－ 7	有限会社二和木材		020-0601	岩手県滝沢市後268-56	019-688-4643
33	Ⅰ－ 8	岡山県森林組合連合会		700-0866	岡山県岡山市北区岡南町2丁目5番地10号	086-222-7671
1	Ⅰ－ 9	北海道森林組合連合会		060-0002	北海道札幌市中央区北二条西十九丁目1番地9	011-621-4293
22	Ⅰ－ 10	一般財団法人金原治山治水財団		431-3801	静岡県浜松市天竜区龍山町瀬尻字川内70－5	053-968-1000
13	Ⅰ－ 11	日本製紙木材株式会社		101-8213	東京都千代田区神田駿河台4-6御茶ノ水ソラシティ	03-6665-7500
22	Ⅰ－ 12	水窪町森林組合		431-4102	静岡県浜松市天竜区水窪町地頭方248-1	053-987-0035
22	Ⅰ－ 13	佐久間森林組合		431-3905	静岡県浜松市天竜区佐久間町半場10-1	053-965-1121
8	Ⅰ－ 49	有限会社　タカノ		319-3366	茨城県久慈郡大子町大沢686	0295-74-0016
8	Ⅰ－ 50	株式会社ヨシナリ林業		319-3361	茨城県久慈郡大子町頃藤3498-1	0295-74-1397
22	Ⅰ－ 52	龍山森林組合		431-3803	静岡県浜松市天竜区龍山町戸倉233-3	053-969-0331
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					

＜様式 2-2・Ⅱ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅱ．製材・集成材・合板製造（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に製材・集成材・合板製造業者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて製材・集成材・合板製造業者を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅱ．製材・集成材・合板製造						
3	Ⅱ － 7	有限会社二和木材		020-0601	岩手県滝沢市後268-56	019-688-4643
9	Ⅱ － 14	二宮木材株式会社		329-2746	栃木県那須塩原市四区町741－5	0287-36-0058
8	Ⅱ － 15	丸川木材株式会社		309-1211	茨城県桜川市岩瀬298	0296-75-2558
3	Ⅱ － 16	三陸木材高次加工協同組合		029-2311	岩手県気仙郡住田町世田米字田谷14－2	0192-49-1088
33	Ⅱ － 17	院庄林業株式会社		708-0013	岡山県津山市二宮22－1	0868-28-2111
1	Ⅱ － 18	丸玉産業株式会社		092-0232	北海道網走郡津別町新町7番地	0152-76-2111
22	Ⅱ － 19	丸志木材株式会社		431-4111	静岡県浜松市天竜区佐久間町相月2684	053-987-0262
34	Ⅱ － 47	中国木材株式会社		737-0134	広島県呉市広多賀谷3-1-1	0823-71-7141
8	Ⅱ － 51	宮の郷木材事業協同組合		319-2205	茨城県常陸大宮市宮の郷2153-25	0294-70-3901
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					

＜様式 2-2・Ⅲ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅲ. 建材流通（木材を扱わない事業者を除く、長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に建材流通（木材を扱わない事業者を除く）を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて建材流通（木材を扱わない事業者を除く）を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅲ. 建材流通（木材を扱わない事業者を除く）						
13	Ⅲ － 11	日本製紙木材株式会社		101-8213	東京都千代田区神田駿河台4-6御茶ノ水ソラシティ	03-6665-7500
13	Ⅲ － 20	株式会社タカキ		207-0015	東京都東大和市中央1-1-5	042-566-2344
14	Ⅲ － 21	ナイス株式会社		230-8571	神奈川県横浜市鶴見区鶴見中央4-33-1	045-521-6161
13	Ⅲ － 22	ジャパン建材株式会社		136-8405	東京都江東区新木場1－7－22	03-5534-3711
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					

＜様式 2-2・Ⅳ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞ Ⅳ. プレカット（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員にプレカット事業者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいてプレカット事業者を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅳ. プレカット						
13	Ⅳ － 20	株式会社タカキ		207-0015	東京都東大和市中央1-1-5	042-566-2344
22	Ⅳ － 23	天竜プレカット事業協同組合		431-3306	静岡県浜松市天竜区船明2661	053-925-6311
11	Ⅳ － 24	株式会社タカキプレカット狭山工場		350-1325	埼玉県狭山市根岸大道東649－1	04-2953-9196
14	Ⅳ － 25	ナイスプレカット株式会社　幸浦工場		236-0003	神奈川県横浜市金沢区幸浦1－5－2	045-775-7751
12	Ⅳ － 26	ナイスプレカット株式会社　木更津工場		292-0835	千葉県木更津市築地2－5	0438-30-1791
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					

＜様式 2-2・Ｖ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ｖ．設計（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に設計事業者を含まない場合、その理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定
Ｖ．設計							○	○
13	Ｖ － 3	株式会社タカキホーム		184-0004	東京都小金井市本町１－１２－６	042-387-5555	○	
13	Ｖ － 4	株式会社なまあず本舗		183-0022	東京都府中市宮西町４－７－１	042-361-4564	○	
13	Ｖ － 27	株式会社オーロラルーム		184-0004	東京都小金井市本町3－7－2	042-381-6820	○	
13	Ｖ － 28	みすゞ建設株式会社		180-0002	東京都武蔵野市吉祥寺東町２－２－１５	042-222-0881	○	
13	Ｖ － 32	株式会社五十嵐惣一工務店		182-0001	東京都調布市緑ヶ丘１－３６－２６	03-3308-1166	○	
13	Ｖ － 34	株式会社佐藤工務店		168-0071	東京都杉並区高井戸西２－１２－２３	03-3334-0082	○	
13	Ｖ － 46	株式会社ウッドデザイン研究所		206-0012	東京都多摩市貝取1-20-7 下野マンション202	042-319-6141	○	
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							

<グループ構成員記入用リスト>Ⅵ. 施工-1（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

<様式 2-2・Ⅵ-1>

県番号	構成員番号	事業者番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定
Ⅵ. 施工-1（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）							22	○	○
13	Ⅵ － 1	42075	マツミハウジング株式会社		187-0011	東京都小平市鈴木町２－２２１－３	042-467-4123	○	
11	Ⅵ － 2	41756	株式会社エステート白馬		359-1124	埼玉県所沢市東住吉１２番２３号	050-2018-0561	○	
13	Ⅵ － 3	41999	株式会社タカキホーム		184-0004	東京都小金井市本町１－１２－６	042-387-5555	○	
13	Ⅵ － 4	42121	株式会社なまあず本舗		183-0022	東京都府中市宮西町４－７－１	042-361-4564	○	
13	Ⅵ － 28	41959	みすゞ建設株式会社		180-0002	東京都武蔵野市吉祥寺東町２－２－１５	042-222-0881	○	
13	Ⅵ － 29	42143	株式会社武陽プランニング		189-0001	東京都東村山市秋津町５－２１－６７	04-2398-7081	○	
13	Ⅵ － 30	42038	有限会社市村工務店		186-0005	東京都国立市西２－１－８	042-576-3046	○	
13	Ⅵ － 32	41984	株式会社五十嵐惣一工務店		182-0001	東京都調布市緑ヶ丘１－３６－２６	03-3308-1166	○	
11	Ⅵ － 33	41714	藤宮工務店株式会社		351-0011	埼玉県朝霞市本町２－７－３３	048-464-2719	○	
13	Ⅵ － 34	42011	株式会社佐藤工務店		168-0071	東京都杉並区高井戸西２－１２－２３	03-3334-0082	○	
13	Ⅵ － 35	42082	株式会社司建築計画		181-0013	東京都三鷹市下連雀６－１５－３３	04-2242-0271	○	
13	Ⅵ － 36	41918	有限会社羽山工務店		190-0002	東京都立川市幸町３－１６－１９	042-538-4848	○	
13	Ⅵ － 37	42205	株式会社島田建設		202-0015	東京都西東京市保谷町４－１－６	04-2463-9394	○	
13	Ⅵ － 38	42070	株式会社小林建設		207-0016	東京都東大和市仲原２－１－７	042-565-5671	○	
13	Ⅵ － 39	42107	株式会社丸清		189-0013	東京都東村山市栄町１－３－６０清水ビル２０１	04-2391-2489	○	
13	Ⅵ － 40	41923	ダイワ住販株式会社		187-0003	東京都小平市花小金井南町１－５－８	042-464-2580	○	
13	Ⅵ － 41	41924	遠藤住建株式会社		206-0033	東京都多摩市落合１－１－９	042-371-1100	○	
13	Ⅵ － 42	42163	株式会社大倉工務店		179-0081	東京都練馬区北町８－３２－１５	03-3934-1569	○	
13	Ⅵ － 43	42193	株式会社未来企画		181-0013	東京都三鷹市下連雀４－１６－１８	042-246-0211		○
13	Ⅵ － 44	42008	株式会社ハウステックス		184-0002	東京都小金井市梶野町４－１６－１０	042-380-5630	○	
13	Ⅵ － 45	52034	有限会社町田工務店		173-0023	東京都板橋区大山町46-1	03-3972-9161	○	
13	Ⅵ － 53		株式会社Hasumi Design		208-0011	東京都武蔵村山市学園1-112-8 エステート武蔵村山1F	042-505-9253	○	
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅵ. 施工－2（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

＜様式 2-2・Ⅵ-2＞

県番号	構成員番号	事業者番号	事業者名	平成28年（1月～12月）の元請実績及び直近3年の年平均元請実績										補助金の活用実績		被災地に該当	ZEHビルダーに該当	BELS工務店に該当
Ⅵ. 施工-2				元請の新築住宅供給戸数		うち木造長期優良住宅の実績		うち木造認定低炭素住宅の実績		うち木造ゼロエネ住宅の実績		優良建築物の着工床面積の実績		長期優良住宅	ゼロエネ住宅	○	○	○
				H28年実績	直近3年平均	H28年実績	直近3年平均	H28年実績	直近3年平均	H28年実績	直近3年平均	H28年実績	直近3年平均	○	○			
13	Ⅵ － 1	42075	マツミハウジング株式会社	35 戸	34 戸	30 戸	30 戸	3 戸	2 戸	0 戸	1 戸	㎡	㎡	○			○	
11	Ⅵ － 2	41756	株式会社エステート白馬	20 戸	25 戸	7 戸	7 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	○				
13	Ⅵ － 3	41999	株式会社タカキホーム	14 戸	12 戸	2 戸	2 戸	1 戸	1 戸	0 戸	1 戸	㎡	㎡	○	○			
13	Ⅵ － 4	42121	株式会社なまあず本舗	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡					
13	Ⅵ － 28	41959	みすゞ建設株式会社	30 戸	35 戸	4 戸	4 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	○				
13	Ⅵ － 29	42143	株式会社武陽プランニング	25 戸	25 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	○				
13	Ⅵ － 30	42038	有限会社市村工務店	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	○				
13	Ⅵ － 32	41984	株式会社五十嵐惣一工務店	7 戸	7 戸	2 戸	2 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	○				
11	Ⅵ － 33	41714	藤宮工務店株式会社	2 戸	2 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡					
13	Ⅵ － 34	42011	株式会社佐藤工務店	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡				○	
13	Ⅵ － 35	42082	株式会社司建築計画	8 戸	8 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	○				
13	Ⅵ － 36	41918	有限会社羽山工務店	4 戸	4 戸	2 戸	2 戸	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	○			○	
13	Ⅵ － 37	42205	株式会社島田建設	15 戸	15 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡					
13	Ⅵ － 38	42070	株式会社小林建設	38 戸	38 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	1 戸	1 戸	㎡	㎡		○		○	
13	Ⅵ － 39	42107	株式会社丸清	25 戸	23 戸	2 戸	3 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	○				
13	Ⅵ － 40	41923	ダイワ住販株式会社	25 戸	25 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	○				
13	Ⅵ － 41	41924	遠藤住建株式会社	2 戸	2 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡					
13	Ⅵ － 42	42163	株式会社大倉工務店	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡					
13	Ⅵ － 43	42193	株式会社未来企画	7 戸	7 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	○				
13	Ⅵ － 44	42008	株式会社ハウステックス	40 戸	30 戸	1 戸	2 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	○	○			
13	Ⅵ － 45	52034	有限会社町田工務店	4 戸	4 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡					
13	Ⅵ － 53		株式会社Hasumi Design	0 戸	6 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					

<グループ構成員記入用リスト>Ⅶ. 木材を扱わない流通

<様式 2-2・Ⅶ>

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅶ. 木材を扱わない流通						
13	Ⅶ － 48	株式会社 HAMAYA		160-0022	東京都新宿区新宿1-7-1 新宿171ビル	03-3341-1701
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種（畳、瓦、襖等の住宅資材の供給事業者等）

＜様式 2-2・Ⅷ＞

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種						
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　　＜様式３－１＞

1．地域型住宅の名称・対象地域(必須)	（地域型住宅の名称）武蔵野の家	（地域型住宅供給対象地域）多摩の東部地区を中心とした、東京都、埼玉県、神奈川県の全域
2．グループの名称・結成年(必須)	（グループの名称）「水と緑の循環型住宅」を考える会	（結成年）2012 年
3．過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	04-0620-0268	

4．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み　※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅）の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア．特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成29年度対応方針】		◎、○記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	・地域の自然環境に最もマッチする木造軸組工法による地震に強い家づくり。 ・近い将来起こりうる地震に備えて耐震等級2相当の耐震性能を確保する（高度省エネ型は耐震等級を問わない、また、非住宅は性能評価の取得不要）。 ・温暖だが冬の寒さに備えて断熱等性能等級4を確保する。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	・可能な限り地域材（国産材）を使う事でCO2固定化、健全な森林保全に寄与できる家づくり。 ・周辺の豊かな自然環境や水資源の循環・再生に寄与する家づくり。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	・独自のデザイン（ルール）を持つ会員工務店も少なくないし、また、地域型住宅「武蔵野の家」を個別の商品としてとらえるよりも会員工務店の自社商品のバリエーションの1つとして、供給する方が普及しやすい事をこれまでの経験からわかった。従って「武蔵野の家」独自のデザインルールを決めずに、下記のような当該地域の“美しい街並み”を汚さぬよう一定の配慮は行うものとする。	○
④ ①～③の背景	・関東ローム層に立地し、地盤は強固であるが、築30年以上の建物も多く、耐震性に不安がある。 ・地域内の水道は井戸水を主に源泉にしており、地域内の年間降雨量と地域内で使用する水道量がほぼ同じ量である。 ・都心へのアクセスも良く、豊かな自然に囲まれ、個性的な商業地域を控えた、文教イメージがあり、美しい街並みの住宅地。	
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	・グループ内で「家づくりの哲学」について徹底に話し合い、価値観を共有し、“チーム”となる。その「哲学」に体現される施主を第一に考える姿勢、“家守り”としての責任感と継続性で大手ハウスメーカーに“チーム”で打ち勝つ事が目標である。 ・定期点検以外も日常的なふれあいを通じて顔の見える工務店として、施主主体の“家守り”をお手伝いしていく住まいづくり。	◎

イ．効率的な住宅生産体制の整備

【平成29年度対応方針】				◎、○記入欄
a	①-1 用材の寸法規格化	■ 行っていない □ 行っている→	内容：	○
	①-2 使用建材の統一	■ 行っていない □ 行っている→	内容：	○
	①-3 標準仕様の設定	□ 行っていない ■ 行っている→	内容：・豊かな緑と水を守る為に雨水浸透桝を設置する。	◎
	②-1 建材・資材調達の共同化	■ 行っていない □ 行っている→	内容：	○
	②-2 調達事務の合理化	■ 行っていない □ 行っている→	内容：	○
	③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	■ 行っていない □ 行っている→	内容：	○
	④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	□ ない ■ ある →	内容：・未供給、未経験工務店の供給を容易にするために、長期優良住宅技術的審査申請や住宅性能表示制度の申請サポートを事務局のメイン業務とする。 ・未供給、未取得工務店による成功事例、成功要因を会員間で情報共有する等を事務局主導で行う。	◎
b.	① グループの信頼性向上に向けた施工基準	□ ない ■ ある →	内容：・非住宅を除く住宅についてはできる限り性能表示制度を利用する。性能表示制度を利用しない場合は下記のような検査を行うなど信頼性向上に資するような施工基準を担保する事。	○
	② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	□ ない ■ ある →	内容：・性能表示制度を利用する場合は住宅性能評価機関による現場検査を実施する。同制度を利用しない場合は工務店の現場代理人が住宅性能評価機関の現場検査マニュアルなどを利用して同機関の現場検査と変わらぬ検査を行う。 ・地盤調査を必ず5点で行う。	◎
	③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	□ ない ■ ある →	内容：・構造材積算フォーマットは共通化し、地域材50%超を自動的に積算チェックできる仕組みを整えて運用する。	◎
	④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	□ ない ■ ある →	内容：・現場近隣に対して維持管理のお手伝いを申し出て、リフォーム等が発生すれば真摯に対応する事で、信頼を獲得していく。 ・未供給、未経験工務店に対して事務局による個別相談や供給経験の豊富な会員による設計・申請の指導、支援を行う（例えば、一次エネルギー消費量の算定サポートや申請など）。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		特になし		

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　＜様式３－２＞

１．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）武蔵野の家	（地域型住宅供給対象地域）多摩の東部地区を中心とした、東京都、埼玉県、神奈川県の全域
２．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）「水と緑の循環型住宅」を考える会	（結成年）2012　年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	04-0620-0268	

４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み　※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ．長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成29年度対応方針】				◎、○記入欄
a	① 住宅履歴情報の蓄積			
	①-1 内容・蓄積の共通ルール	□ ない	■ ある → 内容：・住宅履歴情報は基本WEB管理で行うが、導入が未だの工務店は紙ベースで確実に保管する。	◎
	①-2 情報サービス機関の活用	□ ない	■ ある → 内容：・「住宅履歴情報」を紙ベースで管理している工務店に対して住宅履歴情報機関を紹介・斡旋し、WEB管理化を推進する。	◎
	①-3 履歴情報蓄積の確認手法	□ ない	■ ある → 内容：・施主に対して維持管理に関する助言・意識啓発を担う維持管理のアドバイザー（「家ドクター」）を会員工務店に設置し、確認する。	○
	② メンテナンス基準の整備			
	②-1 点検の共通ルール	□ ない	■ ある → 内容：・長期優良住宅申請時には当会で策定した維持保全計画書（30年想定）を使用する。 ・同計画書を基に建物の部位、期間、点検方法などを議論・検討し、「問診票」の雛型を作成した。その「問診票」を引渡した施主に実際に使用してもらい、その有効性などを検証している。	◎
	②-2 補修の共通ルール	□ ない	■ ある → 内容：・具体的なルールは作成していないが、上記の「家ドクター」に集積された情報から共通ルール化できるものが現れると想定している。維持管理委員会などで検討していく。	○
	②-3 点検補修実施の確認手法	□ ない	■ ある → 内容：・上記の「家ドクター」が住宅履歴情報の管理と併せて責任もって行う。	○
	③ 住まいの管理			
	③-1 住まい管理勉強会の実施	■ ない	□ ある → 内容：	○
	③-2 DIY体験会等の実施	■ ない	□ ある → 内容：	○
	③-3 その他の相談会等の実施	□ ない	■ ある → 内容：・会として例えば合同で行うような事はないが、会員工務店が独自に行っているリフォーム相談会は住まいの管理への意識啓蒙の一助となっている。	○
	④ 維持管理委員会等の設置	□ ない	■ ある → 内容：・上記の「家ドクター」の機能、職能などについても実務レベルでの検討、議論を本格化していく。	○
	⑤ その他の維持管理の手法	□ ない	■ ある → 内容：・上記の「問診票」をもって施主自らが積極的に“我が家”を点検し、維持管理していく。 ・その際、「問診票」を基に「家ドクター」が有効なアドバイスを行い、簡単なものなら施主自らが補修まで行う。住宅履歴情報をWEB管理していれば点検・補修情報も施主がインプットできる。確認は「家ドクター」が行う。	◎
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	□ ない	■ ある → 内容：・廃業や倒産した場合でもすぐ対応できるように保管すべき図面、仕様書などの書類やその項目などの共通化や維持管理の項目、方法などの共有化などを議論し、ある程度固まりつつある。	○
	② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	■ ない	□ ある → 内容：	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		・住宅は工務店から車で30分圏を前提として日常的なふれあいはもとより、地震などの非常時の対応も含め必要な時はすぐに対応する。 ・工事期間のお付き合いから現場近隣に対しても維持管理のお手伝いを積極的に申し出る。		◎

エ．グループの技術力の向上

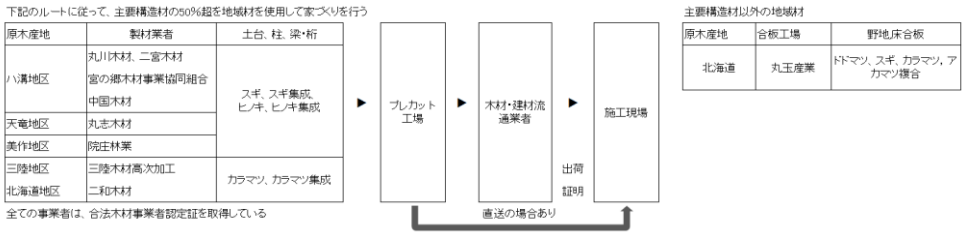
【平成29年度対応方針】				◎、○記入欄
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	□ ない	■ ある → 内容：・これまでの経験から未供給工務店のネックは技術面よりも顧客獲得の“営業”面にある。従って、施工技術研修より顧客獲得の成功事例を共有する等の“営業”研修の方が有効なので、長寿命型住宅では引き続き“営業”研修を実施している。	◎
	②-1 品質管理のための共通ルール	□ ない	■ ある → 内容：・非住宅を除く住宅についてはできる限り性能表示制度を利用する。性能表示制度を利用しない場合は下記のような検査を行うなど信頼性向上に資するような施工基準を担保する。	○
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法	□ ない	■ ある → 内容：・性能表示制度を利用する場合は住宅性能評価機関による現場検査を実施する。同制度を利用しない場合は住宅性能評価機関の現場検査と変わらない検査となるよう工務店の現場代理人が同機関の現場検査マニュアルなどを利用して現場検査を行う。	◎
	③-1 需給計画の策定	■ ない	□ ある → 内容：	○
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画	□ ない	■ ある → 内容：・新築住宅着工棟数の減少速度以上の請負技能者、特に大工の減少は喫緊の問題である。有志の会員工務店などがグループを組み、「東京大工塾」と云う団体を設立。社員大工のリクルーティングの窓口、現場OJTを含む大工育成プログラムの作成、職業訓練校などへの斡旋などを行って会員工務店の社員大工育成をバックアップしていく。	◎
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組	□ ない	■ ある → 内容：・上記総会毎に事務局が中心となって会員流通企業から一次エネルギー消費量削減に資する設備・機器などについて最新情報を積極的に提供し、高効率で経済性の高いものを会員工務店が取り入れるようにする。	○
b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数 30	今年度の参加目標人数 10 ・会員工務店の少なくとも各社1名が100%受講を目標。残り1社が未受講となり、達成率は95%	◎
	①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数	昨年度までの終了者数 0	今年度の参加目標人数 10 ・受講済み請負技能者等をすべて調査したわけではないが、極めて低い受講率は明白なので請負技能者等の受講を積極的に取り組んでいく。	○
	② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組	□ ない	■ ある → 内容：・上記の通り会員工務店の大半が受講済みであるが、今回新入の工務店もいるので、引き続き事務局より何度となく告知を行い、上記目標を達成すべく受講を促進する。	◎
c	① 新たな技術等の導入	■ ない	□ ある → 内容：	○
	② 新たな技術等の開発	■ ない	□ ある → 内容：	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		・全業種（Ⅰ～Ⅷ）をまたぐ研修会・交流会を行う(年2回)。これまでに当会員の製材所見学、研修を3回実施した。この時、所謂“川上”の林業、製材業と“川下”の工務店などとがお互いの課題、問題点を話し合う事で、共有できた。また、なにより地域材に対する愛情も深まった。 ・今後を見据えて機会があればインスペクション講習会参加を促していく。このように国の施策に沿った取り組みを積極的に行い、事務局から会員に常に情報発信を行い、新しい技術講習会に参加していくモチベーションを維持していく。		◎

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

１．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）武蔵野の家	（地域型住宅供給対象地域）多摩の東部地区を中心とした、東京都、埼玉県、神奈川県の全域
２．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）「水と緑の循環型住宅」を考える会	（結成年）2012 年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	04-0620-0268	

４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み　※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

オ．地域の産業・住文化・景観等への寄与

【平成29年度対応方針】			◎、○記入欄
a	① 地域材利用に関する共通ルール（必須）	・地域材は全て合法木材証明制度（国内）を利用。 ・野地合板、床合板を使用する場合、合法木材である国産材100%を使用。	◎
	② 地域材利用の1棟当たりの割合（必須）	□ 50%未満　■ 50%以上　□ 80%以上	◎
	③ 標準的な地域材の使用部位（必須）	主要構造材　土台：□ 使用していない　■ 使用している 柱：□ 使用していない　■ 使用している 梁・桁等の横架材等：□ 使用していない　■ 使用している 羽柄材　間柱、根太、垂木等：■ 使用していない　□ 使用している 造作材　枠材、廻縁等：■ 使用していない　□ 使用している 板材　壁板、床板等：□ 使用していない　■ 使用している	◎
	④ 地域材の流れ（フロー図）などグループの取組に関する補足説明	・すべての事業者は「合法木材事業者認定証」を取得している。 	
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	□ ない　■ ある →　内容：・プレカット工場は当月末棚卸と翌月の上棟予定から必要在庫を予想している。	◎
	①-2 地域材価格の共有の仕組	□ ない　■ ある →　内容：・上記の通りに必要在庫を予想した中で、供給量の減少が予測される場合は前もって在庫量を増加させる措置をとる。そのために製材業者とプレカット工場が常に価格動向を把握している。	◎
	② グループ全体における地域材の需給予測	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：・上棟予定の1ヵ月前には「プレカット木拾い表」が提示されるので地域材の使用量は自ずと把握できる。この使用量を基に直近3ヵ月の需要を予測し、概算量を製材業者に定期的に連絡を行う。	◎
c	①-1 畳の活用	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	○
	①-2 和瓦の活用	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	○
	①-3 襖の活用	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	○
	①-4 障子の活用	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	○
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	○
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	○
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	○
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：・施主主体の“家守り”を物心両面でサポートしていく事で、家族の成長と共に美しく時を経ていく住まいづくりを継承していく。	◎
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	○
	④ 和の住まいの要素を取入れた取組	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		特になし	

カ．その他

【平成29年度対応方針】		◎、○記入欄
東日本大震災の復興に資する取組	・丸川木材（茨城県桜川市）、二宮木材（栃木県那須塩原市）、三陸木材高次加工協同組合（岩手県気仙郡）、セイホク（宮城県石巻市）などの被災地材の利用を積極的に行う事で復興支援活動の一環とする。	○
平成28年熊本地震の復興に資する取組	特になし	

※）行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

１．地域型住宅の名称・対象地域(必須)	（地域型住宅の名称）武蔵野の家	（地域型住宅供給対象地域）多摩の東部地区を中心とした、東京都、埼玉県、神奈川県の全域
２．グループの名称・結成年月(必須)	（グループの名称）「水と緑の循環型住宅」を考える会	（結成年）2012 年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0620-0268	

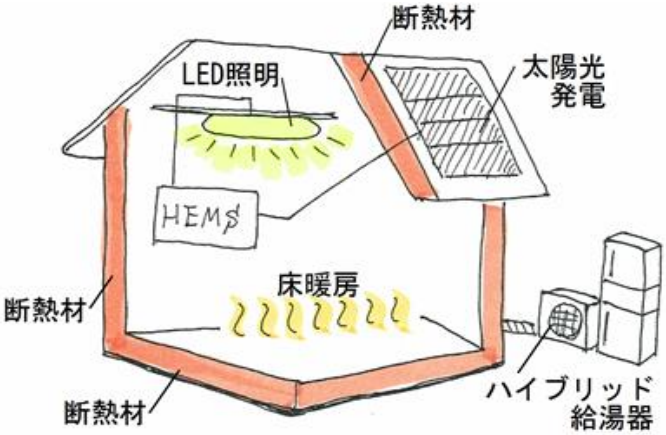
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴
※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。
※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

◎「武蔵野の家」は高度省エネ型でも、優良建築物型でも、工務店の自社商品のバリエーションという位置づけは変わらない。高度省エネ型では具体的に以下のような技や手段を使い、適合させていく。
・平均外皮熱貫流率を5および6地域：0.55W/(㎡K) 以下を目標値とする。
・サッシはLOW-E　ペア硝子、熱貫流率2.33以下の商品を使用。
・1次エネルギー消費量削減の為、エコキュートやエコジョーズ、またはコジェネレーションの設置。
・上記よりさらに消費量削減の為、ヒートポンプとガス給湯器とのハイブリッド給湯器の設置。
・上記のハイブリッド給湯器を熱源とする高効率の床暖房の設置。
・住宅の総エネルギー消費量を確認する為のHEMSの設置。
・照明器具は LEDを使用する。
・断熱材の性能を上げる。
・太陽光発電システムを導入。
・換気は第1種換気（熱交換有り）又は第3種換気を採用する。

◎上記の高度省エネ型住宅の供給実現の為に当会での啓蒙活動を以下の通り行う。
・スマートウェルネス住宅等推進事業と連携し、高度省エネ型住宅の供給実現に資する知識・ノウハウ・情報などを共有する。
・供給工務店による未供給工務店への勉強会、特に、どうやって顧客を創造したのかなどより実態の即した情報交換、情報集約などの活動を事務局中心で行う。
・地域材の理解を深め、その特徴などを実体験で把握できるよう、また、新たな会員を迎えて山林ツアーを開催する。
・各種ロードマップ等で国の動向を理解し、体験型施設などを活用することで今後の営業活動に役立てる。

高度省エネ型の一例



◎優良建築物型では、例えばエコやオーガニックなどで差別化をはかるコンビニなどの店舗も1つのパターンとして捉えて提案する。

※）行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。